

身体の知識を知り手技力を上げる!
1DAYセミナー活用術

東洋医学の知識をつけ、より深い施術を提供 腸に溜まった毒素を排出! 内側からキレイ&健康に

東京・銀座の「雲瑠刮痧中医学院」では、
中醫師である雲瑠さんが「漢方アロマ腸セラピー講座」を行っています。
この1DAYセミナーでは、中医学をベースとし、
内臓に直接働く漢方アロマの知識や施術方法を学ぶことが出来ます。
漢方アロマや東洋医学に興味のある人にぴったりなセミナーの魅力を伺いました。
取材文◎大石治子 写真◎漆戸美保

漢方アロマの基礎や、「内臓」の東洋的知識が分かる!

札幌、東京を拠点とし、中国の伝統医学療法を伝える「雲瑠刮痧中医学院」の代表、雲瑠さん。

中鍼灸師、中醫師の資格を持つ雲瑠さんのレッスンは、現代生活に活かせる中医学の知識や手技を体系的に分かりやすく教えてくれると、サロンを開業しているセラピストの間でも評判となり、遠方から参加される方も多いのだとか。では、漢方アロマを用いた腸セラピーとは、どういったものなのでしょう。

セラピーのベースになっているのは「中医学」です。中医学では、腸には、

不要な気である「濁気」、不要な水「濁水」、不要な血「瘀血」そして「宿便」などの毒素が溜まりやすいと考えられています。これらは、身体の代謝を下げ、腹部の膨満や消化不良、むくみや食欲減退、ポリープや生理痛の原因などにもなりやすいとされています。

「腸に溜まりやすいこれらの毒素を、全身を走る14本の経絡を意識しながら採みほぐし、漢方アロマを使った腹部への集中的なケアによって代謝を促進。低下した内臓機能を回復させ、身体の内側から免疫力を高めていくのが漢方アロマ腸セラピーです」

現代人は冷えやストレス、食べ過ぎや食品添加物の害などにより、腹部に毒素を溜め込んだ方が多いそう。また、

腸が活発でないと、免疫力が下がることは最近の学会研究でもよく言われていること。だからこそ、腸へのアプローチが大事だと、雲瑠さんは言います。

腸セラピーをサロンメニューに取り入れることで、クライアントの体調面や美容面での変化が比較的短い間に感じられるのも魅力です。

1DAYレッスンで学べる「漢方アロマ腸セラピー」は、腹部にある内臓の位置や働きなどの解剖学的なポイントや、中医学で重視する経絡の流れやツボの位置もしっかりと教えてもらえるのも特徴。さらに、手技では腹部の触り方、圧のかけ方などの動かし方だけを教わるのではなく、なぜ効果が

出やすいかまでを論理的に教えてくれるので身に付きやすいそう。

「陰陽五行説を理論の基礎として、経絡や気血水の変化を探っていきます。ステップアップしていけば五臓のバランスに着目し、一症状だけを見る対処的な施術ではなく、一人ひとりの体質に合わせたオーダーメイドの施術が出来るようになっていきます」

漢方アロマや東洋医学を本格的に学びたいけれど、自分に合っているかまは試してみたい人、今までのサロンメニューにプラスして効果を上げる施術を求めている方にとって、この1DAYレッスンは良いきっかけになるかもしれません。

Profile

雲瑠(うんろう)さん

中国内モンゴル出身。雲瑠刮痧中医学院院長。漢方サロン中華主宰。北京中医学大学卒業。中醫師、中国国際推拿按摩師。刮痧国際協会設立。「雲瑠式刮痧グアシャ・かつざ療法」の考案者。痛みを最小限に抑え、施術効果を最大限に引き出す独特の手法が人気。



臓器の位置や腸に溜まる毒素を理解し、腸を温め不要なものを出すトリートメント法を学ぶ!

セミナー基本DATA

講座名:漢方アロマ腸セラピー

時間:約4時間 受講料:47,250円(修了証付き)



STEP1 身体の仕組みを覚える

腹部にある臓器の位置と働きを、人体模型とテキストを使いながら確認。腹部にある臓器は、肝臓、胆のう、胃、脾、腎臓、大腸、小腸、膀胱、子宮、前立腺。「セラピストとして人の身体に触れるからには、臓器の位置や身体の仕組みを知ることが基本!」と雲瑠さん。



STEP2 経絡やツボの位置を学ぶ

身体には走る14経絡の位置や働きを経絡模型を使いながら確認。腹部には、任脈、腎経、胃経、脾経、肝経、胆経と多くの経絡が走っているため、腹部や全身を含め効果的なアプローチが出来る。さらに、胃腸の調子や冷えを取るツボの位置を確認していく。



STEP3 漢方アロマオイルの知識

漢方の成分がアロマオイルに配合された五臓六腑に働きかける精油の説明。腸セラピーはこれらのオイルを使って行われる。ベースオイルには気血循環を促進させる生薬が配合されており、身体の生理機能が向上される。それぞれの臓器の弱ったところをケアしていく。



STEP4 施術方法を身につける

実技の手本を確認後、参加者でペアになるなどして、実際のトリートメントが行われる。手の使い方、圧のかけ方、また症状別のトリートメントの仕方など、中医学の理論をふまえながら行う。基本の動きは、腹部を温める温腸、腹部や臓器の不要なものを出す排気や拜毒の手技。

学習POINT

「腸」に溜まった毒素を取り除く

漢方アロマ腸セラピーで重要なのが、まず、腹部にある臓器の位置や働きを正確に覚えること。大切な臓器がある場所を施術するので、セラピストとして基本的なことをきちんと理解する。腹部にある胃腸の働きや全身のバランスを整えるのにふさわしいツボの位置や、お腹をほぐして腸を温める「温腸」、お腹の毒素を出していく「排気」、不要なセルライトの「揉み出し」といった手技を覚え、腸から健康&キレイを提案し、結果を出せる施術を目指す。





Profile

菅香織 (すがかおり) さん
漢方アロマサロン Rinka(梨香)
kanpoaromarinka@gmail.com

「漢方アロマ腸セラピー講座」体験!

施術の幅が広がり、施術や アドバイスに自信が持てるように

自分の施術に自信が付き、お客さまのリピート率もUP!

「漢方アロマ腸セラピー」の1DAYレッスンに参加したのは、facebookで学校の記事が掲載された雑誌が紹介されているのを見て、その雑誌を購入したのでがきっかけでした。

実は、雲瑶先生の1DAYに参加する前に、他の漢方アロマスクールへ会社に勤めながら1年間通っていたんです。むくみややすい体質ということもあり、自分の身体をなんとかしたいという思いからさまざまな教室を見学していて、入校を決めたのがそのスクールでした。スクールを卒業後、会社も退職し、自宅でサロンを開いたのですが、自分のテクニックや知識が足りない気がして……。施術にあたる時もあまり自信がなく、少し悶々としたものを抱えていました。

そんな時に、雲瑶先生の人柄や中医学への思い、スクール内容が伝わってくる記事を読み、この先生ならもっと深く漢方や中医学のことを教えてもらえるかもしれない!という直感が働きました。どんな学校だろうか、どんな先生なのだろうかというワクワクとした期待に胸を膨らませ1DAYレッスンに参加したのです。

「漢方アロマ腸セラピー」の1DAYレッスン受講時間は約4時間。それで、中医学の知識と漢方アロマを使った腹部を触る一連のテクニックを学ぶわけですから、正直時間は短いと感じる方もいるかもしれません。でも、講義は密度が大変濃く、先生のお話しされる内容は新たな発見の連続。質問にも丁寧に答えてくれるので、中医学の知識の深さにはすごいと思わされることばかりで、本当に満足度の高いものでした。1DAYレッスン修了後、すぐにプロコースに申し込み、中医学の考え方や手技全般を半年間かけてより深く学ぶことが出来ました。この半年は私にとってすごく大きなもので、何よりも知識とテクニックが身に付いたことで、セラピストとして大きな自信を持つことが出来ました。

あるクライアントの症例ですが、生理時に偏頭痛がして鎮痛剤が手放せないという悩みをお持ちでした。お話を聞いたり、身体を触って施術をしたところ、五臓で言うと「胆」の経絡の調子が悪いと感じました。そこで、弱った経絡のバランスを整える漢方アロマのトリートメントを続け、自宅でのケア法もアドバイスしたところ、その方は薬を飲まなくても生理時を過ぎせる体力がついていったのです。これはクライアントの方も喜ばれましたし、嬉しかったですね。

現在サロンでは、刮痧のほかにフェイシャルや漢方アロママッサージ、さらに、オプションとして腸セラピーをつけて施術を行っています。ありがたいことに、一度施術を受けてくださった方のリピート率は9割。これも、単なるリラクゼーションではなく、クライアントさんの不調を根本から改善させる、中医学をベースとした施術が活きているからではないかと思っています。

1DAYレッスンは、自分がもっと学びたい、テクニックをつけたいと思うことを知るきっかけ作りには最適。今後も自分が学びたいと思うこと、興味があることには、トライしていつてみたいです。



☆ 話し方POINT

1. 自分の施術内容に自信がついた

症状だけにフォーカスするのではなく、人間の身体全体をみて、症状の原因を探り、アプローチするという中医学の理論や腸セラピーの技術を学べたことで、自分に自信が付き、技術もアップした。

2. 一度の施術で結果が出せる!

施術の流れは、漢方アロマを腹部に塗布。肋骨と腸骨の近くに手を置き、ウエストラインのセルライトを集中的に揉みほぐしていくテクニック。一回の施術でもラインがすっきりしてくるので、結果に繋がられる。